

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	持続性知覚性姿勢誘発めまい（Persistent Postural Perceptual Dizziness, PPPD）に対する薬物療法および前庭リハビリの有用性について
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	めまいを主訴に 2020 年 1 月 1 日以降に新潟大学あるいは吹田市民病院の耳鼻咽喉科外来を受診され、診断基準に基づき PPPD あるいは一側末梢前庭障害と診断された 18 歳以上の方
③概要	PPPD は、最近診断基準が確立された比較的新しい慢性めまい疾患です。薬物療法、前庭リハビリ、精神療法などが有効であると言われていますが、それぞれの治療法ごとにどのくらいの効果があるのか、検討した報告はまだ少ないのが現状です。PPPD 患者さんに対して薬物療法を積極的に行っている本学耳鼻咽喉科と、前庭リハビリを積極的に行っている吹田市民病院耳鼻咽喉科において、患者さんの治療経過をまとめることで、今後の診療の一助になるものと考えています。また、PPPD と一側末梢前庭障害で各治療法の有効性を比較することで、疾患ごとに最も適した治療方法が明らかになるのではないかと考えています。
④申請番号	2024-0092
⑤研究の目的・意義	この研究の目的は、本学および吹田市民病院の耳鼻咽喉科における PPPD 患者さんの治療経過を観察し、薬物療法と前庭リハビリの有用性について検討することです。併せて、代表的な慢性めまい疾患である PPPD と一側末梢前庭障害における治療効果を比較することで、疾患ごとに最適な治療法を抽出することを目的とします。
⑥研究期間	倫理委員会承認日～2028 年 3 月 31 日
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	治療経過を検討するため、外来受診時に記載して頂いためまい症状に関する問診票の結果を利用します。使用するデータは、個人が特定されない形で保存し、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	診療記録
⑨利用の範囲	新潟大学耳鼻咽喉科、吹田市民病院耳鼻咽喉科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室 専任助教 八木 千裕
⑪お問い合わせ先	新潟大学耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室 専任助教 八木 千裕 Tel: 025-227-2306 E-mail: puppy_with_blanket@yahoo.co.jp